

「農業委員を中心に京力農場プランの作成に向けて話し合い」

大山崎町農業委員会 大山崎町

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	8人
○ 農地利用最適化推進委員：	0人
○ 事務局職員：	3人
○ 市町村行政との連携状況：	町職員が事務局兼任

(写 真)

2 地区の特徴、状況、課題

- 本町は市街化が進み、耕地面積は約26.5haで、一部の竹林を除き市街化区域農地である。
- 自給的な農家がほとんどであるが、営農意欲の強い農家の方もおられる。
- 市街化が進む中で、貴重な農地を保全していくことが重要である。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 毎月の総会后、委員全員で本町の農業振興の在り方などについて話し合いをしている。
- 新型コロナウイルスの影響により書面で総会を行うことも多く、委員以外の農業関係者を含めた話し合いはできていない。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

- 令和元年10月に農家アンケートを実施
- 令和2年12月にアンケート結果を基に地図を作成
- 今後はアンケート結果や地図を基にプランの実質化に向け、話し合いを進める。